

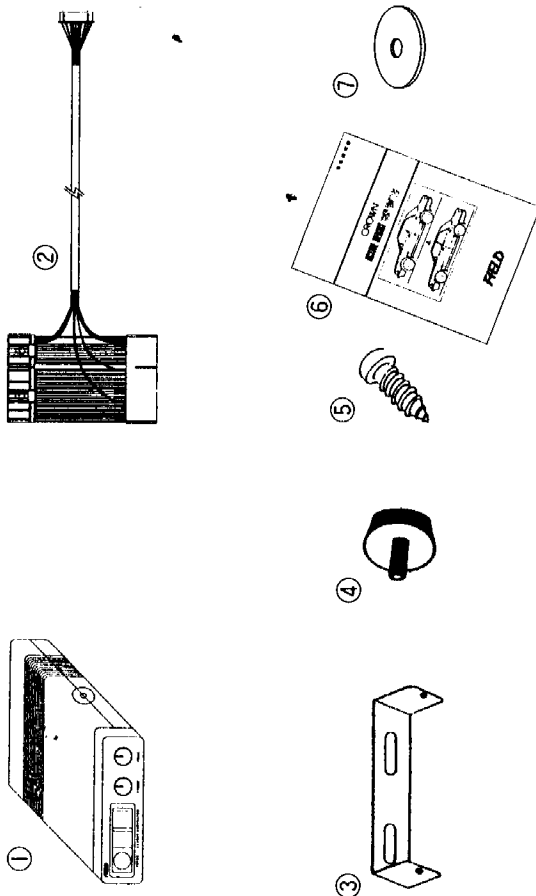
AHC-01M 1/5 CROWN 06 ACTIVE HEIGHT CONTROLLER

【取扱説明書】

この度はACTIVE HEIGHT CONTROLLER (以下AHC) をお買い求め頂きましてありがとうございます。本製品は精密機器ですので、お取扱に際しては十分注意して下さい。

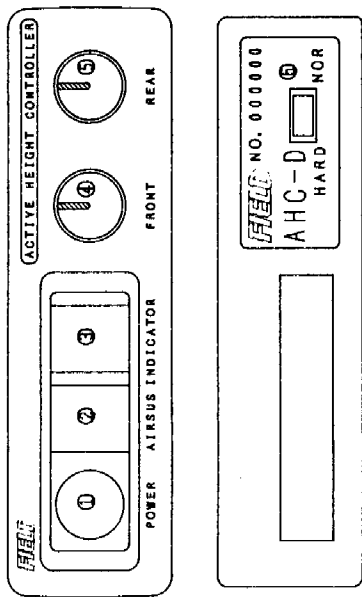
このAHCは、クラウン・ロイヤルサルーン、エアサス仕様車に取付、フロント10段階・リアエアサス10段階の車高調整、及びショックのTEMSをハードに固定することが出来ます。

〈パーツリスト〉



No.	パーツ名	ロット	No.	パーツ名	ロット
①	AHC 本体	1	⑤	ステアータッピング	2
②	AHC 専用ハーネス	1	⑥	取扱説明書・製品保証書	1
③	AHC 取付ステー	1	⑦	ケースラバー	2
④	コントロールユニット用ネジ	2			

〈コントロール部説明〉



- ① パワースイッチ
パワースイッチONでエアサス インジケータが点灯し、車高調整スイッチにより車高調整が可能になります。
パワースイッチOFFで強制的にノーマル復帰します。
- ② フロント エアサス インジケータ
※パワースイッチをONにすると点灯します。
"H,0~8" を表示
- ③ リア エアサス インジケータ
※パワースイッチをONにすると点灯します。
"H,0~8" を表示
- ④ フロント10段階車高調整スイッチ
フロントエアサスインジケータと連動し、"H" の表示で車高HIGH、"0" でノーマル、"1~8" で車高をLOWに調整します。
H 0 1 2 3 4 5 6 7 8
HIGH ノーマル ← LOW →
- ⑤ リア10段階車高調整スイッチ
リアエアサスインジケータと連動し、"H" の表示で車高HIGH、"0" でノーマル、"1~8" で車高をLOWに調整します。
H 0 1 2 3 4 5 6 7 8
HIGH ノーマル ← LOW →

⑥ TEMSスイッチ
スイッチをHARD側にすることによりTEMSをHARDに固定する事が出来ます。(パワースイッチには連動しません)

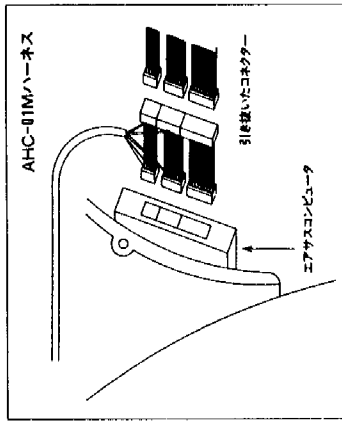
01M 2/5 06

〈取付方法〉

◎クラウン (型式UZS131, MS137の場合)

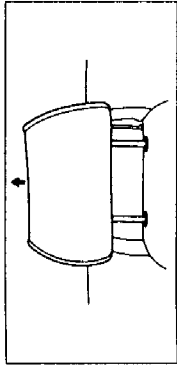
〔取付前の注意〕

☆エンジンを切りバッテリーのマイナス端子を外して下さい。この作業を怠りますと故障、誤動作の原因になります。

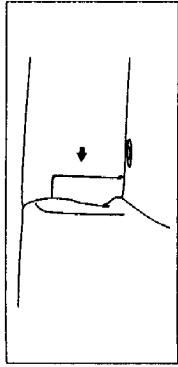


①トランクを開け右側の内張りを外します。

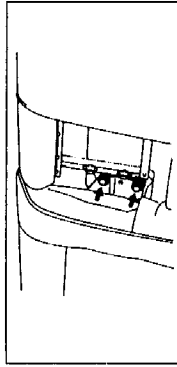
②内張りを外しますとエアサスコンピューターがあり、3つのコネクタがあります。そのコネクタを3つとも引き抜き抜いたコネクタをAHCハーネスに接続して、もう片側をエアサスコンピューターに差し込みます。



④室内へ配線を引き込みます。
I) ヘッドレストを外します。



II) マジックテープでとまっているホルカバーを外し、奥にとまっているネジを外します。



III) アームレストを出してアームレストホルルボードを開けます。
IV) 矢印のボルト2本を外し、リアシートバックを取り外し適当な隙間から配線を引き込みます。

⑤バッテリーのマイナス端子を元に戻し、本体を直射日光やヒーターの拭き出し口を避け、適当な場所にしかりと固定して取付終了です。

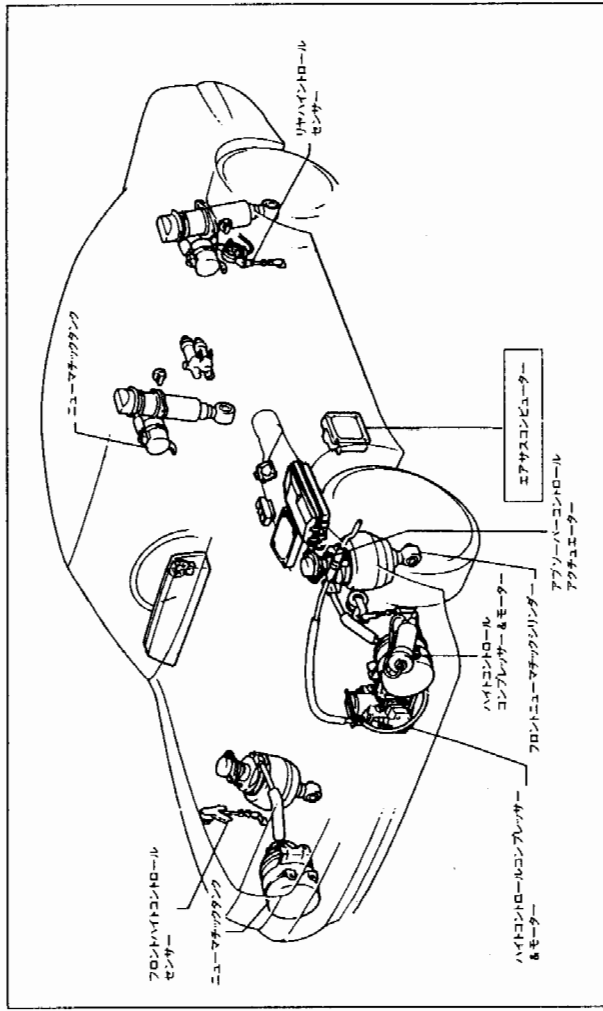
〈動作確認〉

- ③室内に配線を引き込む前に動作確認を行って下さい。
- 1) AHC-01M本体とAHC-01Mハーネスを接続して下さい。
 - 2) 接続終了後バッテリーのマイナス端子を接続して、エンジンを始動して下さい。AHC-01M本体に電圧がきているか確認して下さい。(バックライト等が点灯します。)
 - 3) 段差等がない平坦な場所をパーキングに入れて、サイドブレーキを解除しFRONT、REAR10段階車高調整スイッチをLOW側に回して下さい。(サイドブレーキを解除しないとリアの車高が下がります。)
 - 4) 確実に車高を安定させる為にトリップメーターで1km位走行してから車高が下がっているか確認して下さい。

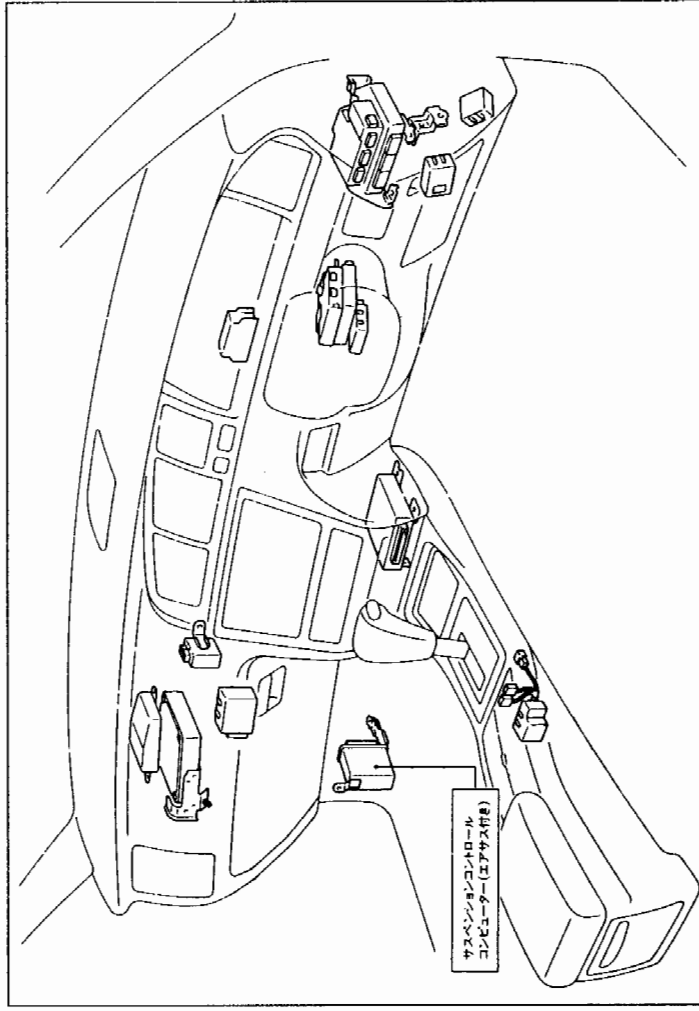
③室内に配線を引き込む前に動作確認を行って下さい。

- 1) AHC-06M本体とAHC-06Mハーネスを接続して下さい。
 - 2) 接続終了後バッテリーのマイナスイネンターを接続して、エンジンを始動して下さい。AHC-06M本体に電圧がきているか確認して下さい。(バックライト等が点灯します。)
 - 3) 段差等がない平坦な場所でギアをパーキングに入れて、サイドブレーキを解除しFRONT、REAR10段階車高調整スイッチをLOW側に回して下さい。(サイドブレーキを解除しないとリアの車高が下がります。)
 - 4) 確実に車高を安定させる為にトリップメーターで1km位走行してから車高が下がっているか確認して下さい。
- ④バッテリーのマイナスイネンターを元に戻し、本体を直射日光やヒーターの拭き出し口を避け、適当な場所にしっかりと固定して取付終了です。

部品配置図



部品配置図 (インストルメントパネル)



【注意】

- ☆クラウンスはノーマルのエアサスの機能で高速走行中、約2cm車高が下がります。
- AHCのLOWモード選択中、高速走行を行いますと更に2cm車高が下がり大変に危険です。通常の高速走行を行う時(高速道路等)はノーマルモードで走行して下さい。
- ☆本体を固定する際にスリット部分をふさがないようにして下さい。
- ☆コネクタが確実に接続されていないと、誤作動の原因になります。
- ☆ハーネス部分等を無理に引っ張ったり、圧迫したりすると接触不良の原因になります。そのため丁寧にお取扱下さい。
- ☆車高LOWの状態て走行中、段差・急な坂道・わたちななどで車体下部をこすることがありますので十分注意して下さい。
- ☆車高LOWの状態て、車高が傾く時があります。故障ではありません。
- (ノーマルのエアサスの機能で1名で運転中ドライバーが降車後、運転席側の前後の車高を1~2cm上げることがあります。又、乗車人数により助手席側が上がる事もあります。走行中は正常な姿勢になります。)
- ☆本製品のご使用によるセンサー、タイヤ、ボグリー等の破損につきましては一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承下さい。
- ☆車高姿勢制御が遅いときは、数キロメートル走行するか、サイドブレーキを解除しギアを、NかPレンジにしてドアを数回開閉しますと、制御が早くなります。
- ☆外気温の変化により車高が若干変化する場合があります。
- ☆車高を極端に上下したまま長時間使用すると、エアサスベシジョンに負担をかけるので、ご注意下さい。

×モ

01M 5/3

06